

川上ダム水源地域ビジョン

概要版



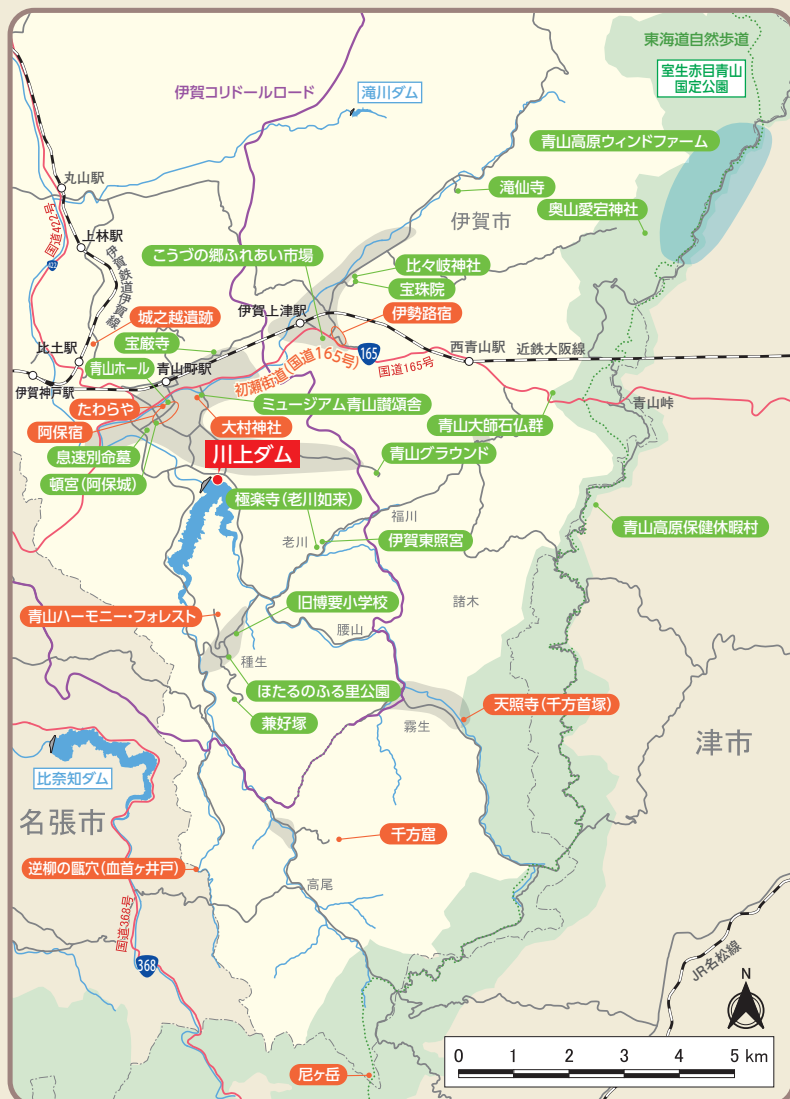
令和4年11月

川上ダム水源地域ビジョン策定委員会

川上ダム水源地域の概要

川上ダムの水源地域は、三重県伊賀市の南部の旧青山町にあり、近畿圏・中部圏の2大都市圏の中間に位置し、近鉄線で両都市圏と結ばれる立地環境にあります。上流域には鈴鹿山脈から室生山地に連なる「室生・赤目・青山国定公園」に指定されている豊かな自然環境が形成され、山麓部では溪流沿いに集落が点在しています。また、古くは伊勢参りで賑わった初瀬街道の阿保宿や大村神社、平安時代に活躍した将軍藤原千方伝説、地域に受け継がれてきた伝統的な祭など、歴史・文化の香り豊かな地域でもあります。こうした地域の自然環境や歴史文化等の魅力を活かして、新たな地域産品の開発や都市域との観光交流の促進などを目指した地域づくりに取り組まれています。

川上ダムは、淀川水系の源流部の木津川支川前深瀬川に建設された、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の確保を目的とする多目的ダムです。川上ダムの建設によって誕生した広大な水辺空間は新しい地域資源として有効に活用することが期待されています。



水源地域ビジョンとは？

『水源地域ビジョン』とは、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。全国の国土交通省、独立行政法人水資源機構が管理するダムを対象に策定され、水源地域の持続的な活性化に取り組まれています。

川上ダムでは、ここに策定した水源地域ビジョンに沿って、水源地域自治体の伊賀市、地域住民組織、関係する諸団体、ダム管理者の水資源機構が協働しつつ水源地域を持続的に活性化するための取組を進めています。





川上ダム水源地域ビジョンの基本方針

川上ダム水源地域活性化の基本目標

【川上ダム水源地域の目指す姿】

- 安心して幸せに暮らし、心の豊かさが実感できる水源地域
- 美しく、自然豊かで、歴史文化が薫る水源地域
- 人々が行き交い、賑わいのある水源地域



川上ダム水源地域活性化の基本的な取組

● 地域の魅力を守り、高め、伝える

川上ダム水源地域の風景、自然環境、歴史文化、地域産業などを掘り起こし、魅力的な地域づくりの資源として守りつつ、その価値をさらに高め、地域活性化に有効に活用して、将来に伝える。

- 1 自然環境・景観を保全・活用し、将来に伝える
- 2 歴史・文化を受け継ぎ・活用し、次世代に伝える
- 3 地域を担う産業を育成・活用する
- 4 水源地域の周遊観光を促進する
- 5 地域活性化の様々な情報を発信する



● 川上ダムを多面的に有効に活用する

川上ダムの建設によって誕生したダム、ダム湖、周辺環境を、水源地域の他の資源などと連携しつつ、多面的に、かつ、有効に水源地域活性化に活用する。

- 6 川上ダム・ダム湖を体験する
- 7 川上ダム周辺の魅力を活かす



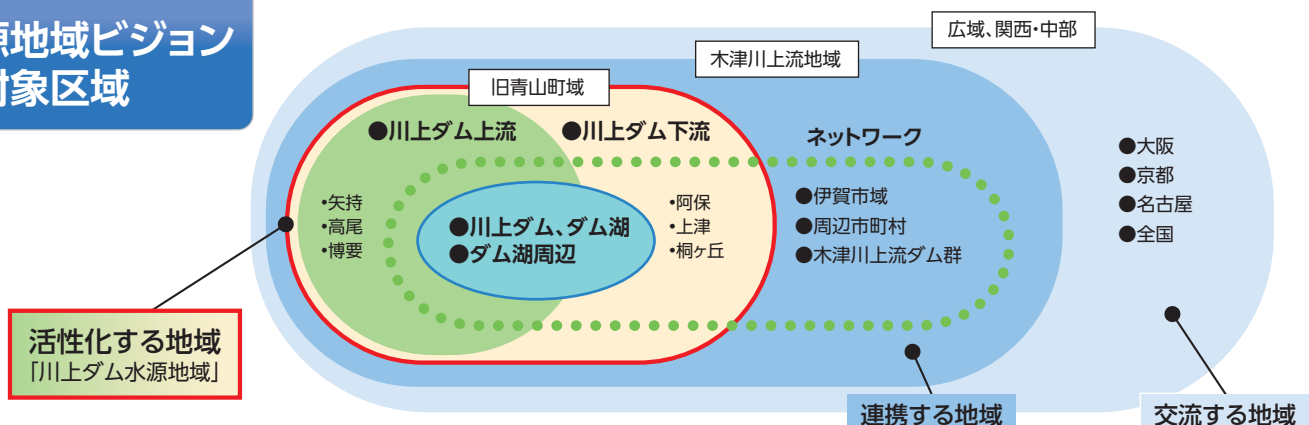
● 地域の人・組織・活動を育み、活かす

川上ダム水源地域に暮らす住民や子供たち、地域で活動する団体や組織、既往の取組などを、これからの水源地域活性化を担う人・組織・活動に育てる。

- 8 活性化を担える人材・組織を発掘・活用する
- 9 将来を担う人材を育成する



水源地域ビジョン の対象区域



川上ダム水源地域ビジョンの取組

1. 自然環境・景観を保全・活用し、将来に伝える

① 木津川源流体験

- 木津川の源流体験活動、沢のぼり・川下り
- サマーキャンプ など

場所など	実施主体	実施時期
●前深瀬川上流 ●床並川 ●逆柳の甌穴付近	●依那古体験隊	●先行実施



② ダム湖水質保全

- 水質保全施設、選択取水施設、曝気施設、流入水バイパスの整備・運用
- 定期水質調査

場所など	実施主体	実施時期
●ダム湖	●水資源機構	●先行実施



③ 自然環境保全の啓発

- 自然環境保全の啓発サイン設置
- オオサンショウウオ、重要動植物 など

場所など	実施主体	実施時期
●ダム湖周辺	●水資源機構	●今後検討



④ 不法投棄対策の推進

- ゴミなどの不法投棄を禁止する看板設置
- 定期的な巡視・確認、撤去

場所など	実施主体	実施時期
●ダム湖周辺	●伊賀市 ●水資源機構	●先行実施



⑤ 環境美化活動

- ダム湖・河川・観光施設等での一斉清掃活動
- 関係機関の協働作業

場所など	実施主体	実施時期
●前深瀬川 ●博要地区 (兼行塚・梅林等)	●各住民自治協議会 ●伊賀市 ●水資源機構	●先行実施



⑥ 博要地区 ほたる祭り

- 「ほたるの里づくり」を活かしたほたる祭り
- ほたる鑑賞会、住民参加の催し、地域物産販売

場所など	実施主体	実施時期
●博要地区市民センター ●種生川ほたる水路	●博要地区住民自治協議会	●先行実施



2. 歴史・文化を受け継ぎ・活用し、次世代に伝える

① 初瀬街道まつり

- 初瀬街道まつり
- 酒蔵まつり
- 初瀬街道散策ウォーク

場所など	実施主体	実施時期
● 初瀬街道一帯 ● 阿保地区	● 阿保地区住民自治協議会	● 先行実施



② 藤原千方、吉田兼好に関するイベント

- 千方ウォーキング
- 吉田兼好の集い
- 甕穴まつり

場所など	実施主体	実施時期
● 高尾地区 ● 博要地区	● 千方伝承会高尾地区住民自治協議会 ● 博要地区住民自治協議会	● 先行実施



③ 水源地域散策会

- 歴史的遺産、伝統文化、自然環境等の散策会
- 忍者伝説、山城、神社仏閣・仏像、自然観察

場所など	実施主体	実施時期
● 水源地域一帯 ● 阿保宿周辺	● 青山讃頌舎	● 先行実施



④ 種生神社 秋祭り

- 伝統的な祭りである「種生神社 秋祭」の伝承
- 「獅子神楽」、「宵宮祭」、「渡御式」 など

場所など	実施主体	実施時期
● 博要地区	● 博要地区住民自治協議会	● 先行実施

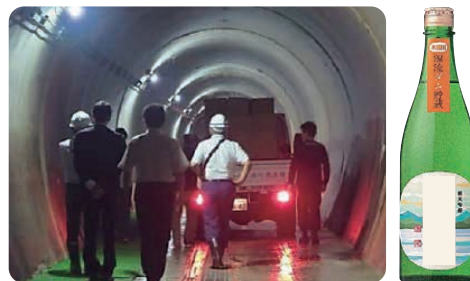


3. 地域を担う産業を育成・活用する

① ダム貯蔵酒の開発

- 伊賀特産の日本酒などを貯蔵・熟成
- 日本酒以外でも熟成や保存の場として活用

場所など	実施主体	実施時期
● ダム堤体 (監査廊)	● 伊賀市商工会 ● 地元酒蔵	● 今後検討



② 地域物産青空市

- 水源地域の物産を販売する住民参加型の青空市
- 生産者と消費者との交流機会

場所など	実施主体	実施時期
● ダム湖周辺 ● ダム堤体付近	● 各住民自治協議会 ● 伊賀市商工会	● 先行実施



4. 水源地域の周遊観光を促進する

① 地域の観光交流イベント

- 住民相互・水源地域と下流都市の交流活動
- 「ふれあい芸術祭」「ハナレ」「青山夏祭り」 など

場所など	実施主体	実施時期
● 流域地域	● 各住民自治協議会 ● 伊賀市	● 先行実施 ● 今後検討(下流都市交流活動)



② ロードレース大会

- 川上ダム水源地域を巡る自転車ロードレース
- サイクリング、ツーリング、ドライブ など

場所など	実施主体	実施時期
● ダム湖周辺道路	● 伊賀市	● 今後検討



③ ダムカレー

- 川上ダム・ダム湖を形どったダムカレー
- 川上ダムに関連した新規メニューの開発 など

場所など	実施主体	実施時期
● 水源地域全域	● 伊賀市商工会	● 先行実施



④ ハーモニー・フォレストの活用

- 水源地域の体験観光、周遊観光の拠点
- キャンプ、アウトドア体験、自然体験 など

場所など	実施主体	実施時期
● 青山ハーモニー・フォレスト	● 青山ハーモニー・フォレスト ● 博愛地区住民自治協議会	● 先行実施



5. 歴史・文化を受け継ぎ・活用し、次世代に伝える

① 情報発信(川上ダム発信の広報)

- 川上ダムのHPやSNSでダムめぐり等を発信
- 水源地域情報へのリンク、ダムカード配布

場所など	実施主体	実施時期
● 水源地域全域	● 水資源機構	● 先行実施



② 「いがぶら」での情報発信

- 旅の情報を発信する「いがぶら」への参加
- WEBでのPR、伊賀市域観光施設との連携

場所など	実施主体	実施時期
● 水源地域全域	● 各主催者 ● 実施主体	● 今後検討



6. 川上ダム・ダム湖を体験する

① ダム施設見学会

- ダムの内部などを見学するインフラツーリズム
- ダム事業や水源地域の役割などを啓発

場所など

- ダム堤体一帯

実施主体

- 水資源機構

実施時期

- 今後検討



② カヌー体験教室

- カヌー、ボートを習得できる体験教室
- カヌーで湖面からの風景を楽しむダム湖めぐり

場所など

- ダム湖

実施主体

- 依那古体験隊 など

実施時期

- 今後検討



③ 魚つかみ取り、魚釣り大会

- ダム湖利用をPRする魚つかみ取りの体験会
- ダム湖釣りの競技大会 など

場所など

- ダム湖周辺
- 前深瀬川(流入部エリア)

実施主体

- 伊賀川漁協

実施時期

- 今後検討



7. 川上ダム周辺の魅力を活かす

① 流木配布会

- ダム湖に流入した流木を希望者に配布
- 流木アート作品等による地域の交流・活性化

場所など

- ダム堤体付近
- ダム湖周辺

実施主体

- 水資源機構

実施時期

- 今後検討



② ダム湖花火大会

- 広いダム湖面に映える湖上花火大会
- 「青山夏祭り」と一環のイベント

場所など

- ダム湖

実施主体

- 伊賀市商工会

実施時期

- 今後検討



8. 活性化を担える人材・組織を発掘・活用する

① 水源地域の住民自治協議会の連携・交流

- 6地区住民自治協議会の連携・交流を深める場
- 川上ダム水源地域全体で実行する施策を推進

場所など

- 水源地域全域

実施主体

- 各住民自治協議会

実施時期

- 先行実施



② 語り部の育成

- 地域の歴史・文化を語り伝える「語り部」
- 地域の子供たちや水源地域を訪れ人々への伝承

場所など

- 水源地域全域

実施主体

- (後援:伊賀上野観光協会)

実施時期

- 今後検討



9. 将来を担う人材を育成する

① 水の大切さを考える学習会

- 川上ダムや水の大切さを学ぶ体験学習
- ダムと浄水場での体験学習

場所など

- ダム堤体付近
- ダム湖周辺
- ゆめが丘浄水場

実施主体

- 伊賀市

実施時期

- 今後検討





ビジョンの推進方法

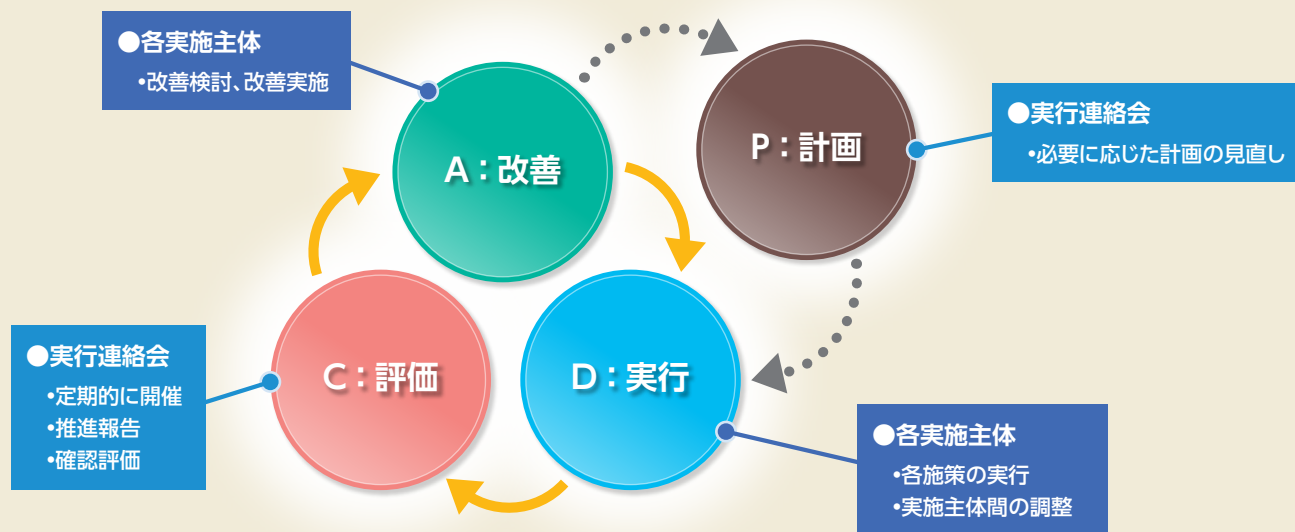
- 水源地域ビジョンの実施主体による計画の推進組織「川上ダム水源地域ビジョン実行連絡会」を立ち上げ、定期的開催するとともに、計画の推進状況を相互に確認・評価し、必要に応じて行動計画の改善を図りつつ計画を推進します。
- 個々の具体的な取組については、実施主体が中心となって関係機関、関係団体が協議・調整する「調整会議」を設け、個別の取組毎に必要な応じた調整を行います。
- 計画の進捗状況や社会経済環境の変化などを踏まえて、水源地域ビジョンの見直しの必要性を判断し、必要な場合は水源地域ビジョンを見直します。

■ 川上ダム水源地域ビジョンの推進組織のメンバー構成

「川上ダム水源地域ビジョン実行連絡会」

- 関係自治体：伊賀市
- ダム管理者：水資源機構
- 実行組織：各住民自治協議会、伊賀市商工会、伊賀川漁業協同組合、青山讃頌舎、青山ハーモニー・フォレスト、依那古体験隊

■ 川上ダム水源地域ビジョンのPDCAサイクルによる推進



ビジョンの策定経緯

■ 川上ダム水源地域ビジョンの策定組織

水源地域に係る自治体:伊賀市とダム事業者:水資源機構を委員とした「川上ダム水源地域ビジョン策定委員会」において策定しました。同委員会には、下部組織として「川上ダム水源地域ビジョン策定作業部会」を設け、地域住民代表、関係団体、伊賀市関係部局などを交えて具体的な計画案を策定し、委員会に諮りました。

■ 川上ダム水源地域ビジョンの策定経緯

「作業部会」を令和3年7月から令和4年10月までに合計7回開催して計画案をとりまとめ、令和4年11月30日に「委員会」に諮って計画を決定しました。

お問い合わせ先

川上ダム水源地域ビジョン実行連絡会

住所：三重県伊賀市阿保2171番地12

電話：0595-52-3690 FAX：0595-52-3687